

企画競争実施の公示

平成30年2月13日

分任支出負担行為担当官中部地方整備局
高山国道事務所長 野津 隆太

次のとおり、企画提案書の提出を招請します。

1. 業務概要

(1) 業務名

平成30年度 高山国道管内道路気象予測業務

(2) 業務内容

本業務は、高山国道事務所が保有する各種気象観測機器（雨量計、気温計、路温計、積雪計等）のセンサー情報と、受注者のもつ気象情報等を統合・システム処理した情報に、気象予報士による高山国道事務所管内の気象予測を加えることにより、道路管理業務の迅速かつ的確な遂行及び一般道路利用者の安全確保とサービス向上を図ることを目的とする業務である。

(3) 予定履行期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

2. 企画競争参加資格要件

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成28・29・30年度一般競争（指名競争）参加資格（全省庁統一資格）の「役務の提供等」において東海・北陸地域の競争参加資格を有する者であること。
- (3) 企画提案書等の提出期限から見積決定日までの期間に中部地方整備局長から指名停止を受けていないこと。
- (4) 会社更生法に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者（競争参加資格に関する公示に基づく再申請の手続きを行った者を除く）でないこと。
- (5) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省が発注する業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (6) 気象業務法第17条による気象庁長官の許可を受けていること。
- (7) 業務実績に関する要件
企画提案書を提出する者は、平成20年度以降に完了した以下に示す同種又は類似業務（平成29年度完了予定業務を含む。）において、1件以上の実績を有していること。
同種業務：国、特殊法人等（注1）、地方公共団体（注2）、地方公社（注3）、公益法人（注4）又は大規模な土木工事を行う公益民間企業（注5）が発注した道路管理又は河川管理に必要な気象予測を行い、その情報を提供する業務

類似業務：国、特殊法人等（注1）、地方公共団体（注2）、地方公社（注3）、公益法人（注4）又は大規模な土木工事を行う公益民間企業（注5）が発注した気象予測を行い、その情報を提供する業務

注1）特殊法人等とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令第一条に示す、新関西国際空港(株)、首都高速道路(株)、中日本高速道路(株)、成田国際空港(株)、西日本高速道路(株)、日本環境安全事業(株)、阪神高速道路(株)、東日本高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)、日本中央競馬会、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園、独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人空港周辺整備機構、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、独立行政法人国際協力機構、独立行政法人国立科学博物館、独立行政法人国立高等専門学校機構、独立行政法人国立女性教育会館、独立行政法人国立青少年教育振興機構、独立行政法人国立美術館、独立行政法人国立文化財機構、独立行政法人自動車事故対策機構、独立行政法人情報通信研究機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、独立行政法人都市再生機構、独立行政法人日本学生支援機構、独立行政法人日本芸術文化振興会、独立行政法人日本原子力研究開発機構、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構、独立行政法人日本スポーツ振興センター、独立行政法人水資源機構及び独立行政法人労働者健康福祉機構（日本道路公団など同条に規定する法人の組織改編前の法人、附則第2条及び第3条に示す独立行政法人を含む）に加え国土交通省所管のその他の独立行政法人、地方共同法人日本下水道事業団をいう。

注2）地方公共団体とは地方自治法第1条の3に規定する普通地方公共団体（都道府県、市町村）及び特別地方公共団体（地方公共団体の組合、財産区及び地方開発事業団）をいう。

注3）地方公社とは、地方道路公社法に基づく道路公社、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき都道府県が設置した「土地開発公社」、地方住宅供給公社に基づき都道府県が設立した「住宅供給公社」をいう。

注4）公益法人とは、次のものをいう。

一 公益法人とは、一般社団法人又は一般財団法人に関する法律に基づき設立された一般社団法人又は一般財団法人、及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき認定を受けた公益社団法人又は公益財団法人。

二 旧民法第34条の規定により設立された社団法人又は財団法人であって、平成20年12月1日現在、現に存する法人であって、新制度の移行の登記をしていない法人（特例社団法人又は特例財団法人）。

注5）大規模な土木工事を行う公益民間企業とは、鉄道会社、空港会社、道路会社、電力会社、ガス会社、石油備蓄会社、電気通信会社をいう。

(8) 配置予定管理技術者に関する要件

配置予定管理技術者は、以下の要件を満たさなければならない。

①気象予報士の有資格者である者。

②平成20年度以降に完了した以下に示す同種又は類似業務（平成29年度完了予定業務を含む。）において、1件以上の実績を有していること。

同種業務：国、特殊法人等（注1）、地方公共団体（注2）、地方公社（注3）、公益法人（注4）又は大規模な土木工事を行う公益民間企業（注5）が発注した道路管理又は河川管理に必要な気象予測を行いその情報を提供する業務

類似業務：国、特殊法人等（注1）、地方公共団体（注2）、地方公社（注3）、公益法人（注4）又は大規模な土木工事を行う公益民間企業（注5）が発注した気象予測を行いその情報を提供する業務

(注1～5)の説明は、2.(7)と同じ。

3. 手続等

(1) 担当部局

〒506-0055 岐阜県高山市上岡本町7丁目425番地
中部地方整備局 高山国道事務所 経理課 契約係
電 話：0577-36-3812
F A X：0577-36-3828
電子メール：cbr-keitakay@mlit.go.jp

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

平成30年2月13日から平成30年3月6日まで、(1)と同じ。
説明書の交付を希望する場合は、予め(1)の担当まで事前連絡を行うこと。

(3) 企画提案書の提出期限、場所及び方法

平成30年3月6日16時00分 (1)と同じ。持参、郵送(書留郵便に限る。)、
電子メールによること。

(4) 説明会の日時及び場所等

本契約については、関係法令の定めるもののほか入札説明書により履行するもの
とし、説明会は実施しない。

(5) 企画提案に関するヒアリングの有無、日時及び場所

本契約については、ヒアリングを実施しない。

4. その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 関連情報を入手するための照会窓口 3(1)と同じ。

(3) 提案が特定された者は、企画競争の実施の結果、最適な者として特定したものであるが、会計法令に基づく契約手続の完了までは、国との契約関係を生じるものではない。なお、提案者の提案内容によっては、特定する者が存在しないこともある。

(4) 本見積に係る見積決定および契約締結日は、平成30年4月2日とするが、本見積に係る平成30年度予算成立が4月2日以降となった場合は、予算成立後最初の開庁日とする。

また暫定予算となった場合は、予算措置が全額計上されているときは全額の契約とするが、全額計上されていないときは全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とする。

なお、本見積に係る開封は、見積決定を保留するという条件の上で行うものとする。

(5) その他の詳細は説明書による。